

こしんにちは つるおか

No. 94

大切なのは野球を楽しむこと

おおたがき こうぞう
大田垣 耕造 さん



一般財団法人全日本野球協会業務執行理事。1972年(株)東芝に入社、社会人野球で投手として活躍。その後コーチ等を経て、1988年東芝野球部監督に就任。2000年のシドニーオリンピックでは野球日本代表監督を務める。鶴岡ドリームスタジアム15周年記念シンポジウムパネリストとして来鶴。広島県出身。

これまで鶴岡には日本代表の合宿で二度訪れています。鶴岡は食べ物がおいしいところという印象がありますね。差し入れて頂いたとりたての岩ガキや、小さなナスの漬物を食べて「これは東京では食べられないな」と思ったのを覚えています。

私が子供の頃の遊びといえば野球でした。近所の友達が集まればすぐに野球で遊び始める。とにかく遊びの野球は楽しかったですね。私は小学4年生で野球チームに入りましたが、中学生までは遊びの野球を楽しみ、高校生から本格的に取り組みました。指導する方は、子供の野球では余り勝ち負けにこだわり過ぎず、遊びの中で投げる・打つ・捕るの感覚を子供に身に付けさせてほしいですね。何よりも大切なのは野球を楽しくやることです。

「これに勝ったら都市対抗の決勝」という社会人野球の試合で打たれたことは今でも記憶しています。当時ではできるだけのことをやったの

ですが、今してみれば対戦相手のデータや戦術的な知識等が不足していたように思います。指導者になってからは、そういうことで選手が悔いを残すことのないように、事前の準備を心掛けさせました。

試合でピンチを迎えたときは「逃げるな。自分の一番いいもので勝負しろ」とアドバイスをしました。逃げてピンチを脱しても、得るものがなく成長しない。だから勝負をさせる。打たれたらまた練習すればいいんです。投手交代の見極めは難しく、投手のプライドや次の試合への意欲等を考えて、本人が納得するタイミングで交代を告げるよう努めましたね。

現在、私は日本代表のチーム編成に携わっています。当面の目標はアジア大会に向けて、監督の意向に沿ったよいチームをつくること。そして、それを次の世代へつないでいくことです。野球界には古い考え方がまだ残っている部分もあります。発想豊かな若い方が先頭に立って活躍し、野球界が発展することを願っています。



シンポジウムの様子（4月19日／東京第一ホテル鶴岡）

身体障がい者等用駐車施設

この身体障がい者等用駐車施設は、身体障がい者等用駐車施設利用証をお持ちの方が利用できます。

山形県

「身体障がい者等用駐車施設」案内表示見本

山形県では、身体障害者や歩行困難な方、妊産婦など一定の要件に当てはまる方を対象に「身体障がい者等用駐車施設利用証制度」を実施しています。対象となる障害者等用駐車スペースには、次のような案内表示が掲げられています。

A 必要な人が駐車できるようにご協力をお願いします

青色の障害者等用駐車スペースに停めた車には、障害のある方が一人も乗っていませんでした。障害のない方だけが乗る車ならば、一般駐車スペースに駐車すべきだと思えます。

Q 障害者等用駐車スペースのマナーに疑問があります

声

voice

市への意見や質問、広報を読んだ感想などをお寄せください。
◎送り先 本所総務課
☎25 - 2111内線316

鶴岡が誇るもの & 技

MADE in TSURUOKA

鶴岡発の優れた技術やこだわりの逸品。その魅力や今後の展望を紹介します。

第2回 クラゲの繁殖・展示 ～世界が注目する取り組み～

■問合せ／本所観光物産課 ☎内線545

平成20年に国内の動物園・水族館の最高の栄誉である「古賀賞」を受賞している加茂水族館。その立役者の一人の奥泉和也さんは、「クラゲの繁殖に取り組み始めた頃、予算はほとんどありませんでした。冷蔵庫を改造した恒温箱を手作りするなど、手探りの状態でした」と当時を振り返ります。

クラゲに取り組みきっかけは、サンゴ展を開催したときに、偶然、水槽の中でサカサクラゲを見つけたことです。最初は何か分からず、他の水族館から聞いて判明しました。餌を与えるにつれ成長していく姿を見て、クラゲはとても不思議な魅力をもった生き物だなと感じ、試しに館内で展示しました。そうしたら、来館者もとても喜んでくれる様子でクラゲの姿に見とれていたのです。

クラゲの展示に手応えを感じ、平成10年頃から繁殖に力を入れ始めるのですが試行錯誤の連続でした。十分な器具がなく、山形大学で顕微鏡を使わせてもらったり、クラゲに関する情報が少なく、大学の研究者や他の水族館の飼育員に聞いた



〈クラゲドリーム館副館長の奥泉和也さん〉

りしたこともあります。また、採取中にクラゲに刺され入院したことや、繁殖中のクラゲ水槽に猛毒のクラゲの幼体（ポリプ）が混入し全滅するなどのピンチもありました。そのような逆境でも皆で支え合い平成12年に展示種類数12種類で日本一を達成。その後、クラゲラーメンやクラゲアイスなどの食品開発、鶴岡シルク製のクラゲネクタイの商品化など話題づくりにも取り組みました。

また、平成22年にオワンクラゲの研究でノーベル化学賞を受賞した下村脩博士が来館したことも、大きな話題になりました。うまく光らなかったオワンクラゲも下村博士のアドバイスで光るようになりました。

こうして、専門家の学術的な助言や、築き上げた人的ネットワークを活用してクラゲ繁殖活動に精力的に取り組み、平成24年にクラゲの展示種類数でギネス世界記録に認定されます。このことは世界の技術者の注目を集めることにもなり、これまでの間、海外から技術取得のため10人以上の研修員を受け入れてきました。

新しい水族館では研究スペースを広く設計し、資器材も効率的に配置するなど研究環境を大幅に改善しています。「常時50種類以上のクラゲを展示することは、とても困難なことですが、スタッフ全員の念願である“世界一のクラゲ水族館”実現のために挑戦し続けます。そして、市民の皆さんが自慢できる水族館になれるよう技術研さんに励みます」と奥泉さん。その夢と希望に向かって、日々、クラゲと真っすぐに向き合っています。

この制度は、公共施設やスーパーマーケットなどの駐車場において、障害者等用駐車スペースを利用して、利用できる方を明らかにすることで、利用証を車に表示することによって不適切な駐車を抑制することを目的としています。



「身体障がい者等用駐車施設」利用証見本

▼利用証の交付対象となる方
 ▼身体障害者、高齢者、知的障害者、難病の方のうち歩行困難な方
 ▼妊産婦（妊娠7か月～産後3か月の期間）
 ▼けがまたは病気によって歩行困難な方（車椅子・つえ等の使用期間）

ご質問のように、障害者等用駐車スペースが不適切に利用されてしまうと、本来利用すべき障害のある方等が利用できなくなってしまう可能性があります。駐車場をみんなが安心して利用できるようにするには、一人ひとりが正しい場所に駐車することが大切です。

お互いにマナーを守り、思いやりの中で駐車場を利用するように心掛けましょう。

〈本所福祉課〉